

■ 日本アドバンス・ケア・プランニング研究会第9回年次大会 特集号 対面開催終了、オンデマンド配信を開始

2024年9月21日（土）北海道札幌市で対面開催
「ACPサイクルでつなぐ人生会議」～話す、残す、伝える、見直す～

■ 特別講演 令和6年度診療報酬改定について ～患者の意思をより尊重した医療へ～

厚生労働省保険局医療課 林 修一郎課長（写真右）にご登壇いただき、令和6年度診療報酬改定において、入院、外来、在宅にわたって、「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」の更なる普及につながる改定がなされ、この検討経過などについてご講演をいただきました。また精神保健福祉法の改正にもふれていただきました。



アンケート

- ・精神保健法の改定も含めて網羅的に解説され、理解が深まりました。
- ・医療における生活の視点を念頭においた診療報酬の改定になっており、退院支援に繋げていくことが更に重要であることを認識した。
- ・精神保健福祉法の話や身体拘束についても聞くことができ、学びが深かった。

■ シンポジウム 1 医師と看護師で語る病院でのACP～ACP学びのサイクルの提案



札幌医科大学呼吸器・アレルギー内科学講座の千葉弘文教授を座長に、札幌医科大学附属病院（小玉賢太郎医師、小沢淑子看護師）、春日井市民病院（會津恵司医師、森本優子看護師）、西岡病院（澤田格医師、増田順子看護師）の医師・看護師によるACPの取り組みの報告があり、その後、フロアとのディスカッションを行いました。

アンケート

- ・実践的な内容で、院内委員会の立ち上げに際してとても参考になりました。
- ・先行施設での苦勞や、それぞれのやり方が参考になった。

■ シンポジウム 2 介護施設×救命医×弁護士～ACPサイクルと臨床倫理課題を語る

慈啓会特別養護老人ホーム 谷口俊弘施設長、総合大雄会病院 宮部浩道副院長、札幌綜合法律事務所 福田直之弁護士という介護施設・救命医・弁護士間でACPと臨床課題に正面から向き合うシンポジウムを行いました。

アンケート

- ・介護・福祉・医療だけの連携では解決できない事例も多いため、弁護士の介入はとても心強いと感じた。
- ・普段関わることのない救命医の視点のお話をきけて良かった



■ シンポジウム 3

ACPが難しい事例とは
～#ACPサイクル#救急医療#身元保証人不在#チーム形成



栄町ファミリークリニック 中川貴史医師（在宅医）、ゆいと法律事務所 石塚慶如弁護士、江南厚生病院 野田智子MSW、札幌医科大学附属病院 村中沙織看護師（高度救命救急センター）のメンバーで、ACPが難しい事例を共有し、解決策を議論するシンポジウムを行いました。

アンケート

- ・ 困難例に遭遇した際の対応や、第三者機関の必要性などのACP自体の方向性がわかりました。
- ・ ACPはいつ行うのか？ 救急時だけでなく、予防的なのかかわりが必要かと思う。

■ デイスクッションルーム 1

在宅・高齢者施設等でのACP
～ACPサイクルと多職種連携

札幌総合法律事務所 福田直之弁護士を座長に北海道介護支援専門員協会 大島康雄会長、介護老人保健施設緑風 笹谷貴志事務局長、緩和ケアクリニック恵庭 柴田泰洋医師の各立場からACPの実践と取り組みの必要性について発表があり、フロアとの議論を行いました。



アンケート

- ・ 意向は時間や環境で変わること、記録に残すことの大切さがわかった。
- ・ ケースの対応を聞くことができた。

■ デイスクッションルーム 2

在宅支援におけるACP
～地域包括支援センター×弁護士



西岡病院 横田法律MSWを座長に、ゆいと法律事務所 石塚慶如弁護士、西岡病院 吉川匠内科部長、札幌市西区第一地域包括支援センター 熊谷勇介社会福祉士、旭川市永山地域包括支援センター 高橋通江社会福祉士から在宅療養の中での事例を通して、ACPIについての発表があり、フロアとの議論を行いました。

アンケート

- ・ 権利擁護、消費者被害に関する課題は発表者と同じように感じているため。共感できた。
- ・ 法律的な解釈について参考になった。

■ デイスクッションルーム 3

嚥下機能と誤嚥性肺炎
～ACPサイクルを意識した多職種連携

西岡病院 吉川匠内科医長・横田法律MSWを座長、札幌総合法律事務所 矢田英之弁護士をコメンテーターに西岡病院 小笠原剛言語聴覚士、東苗穂病院 星野拓磨副院長・橋野静香看護師から嚥下機能への取り組みとACPを関連した発表があり、その後、フロアとの議論を行いました。

アンケート

- ・ 現場でのACPの介入の事例を知ることができた。
- ・ どんなものを食べたいか、どのように食べたいかはその人の暮らしに密接に関わっている。話を聞いているうちに、食とACPのつながりにとても納得した。



【事務局】〒062-0034 北海道札幌市豊平区西岡4条4丁目1-52

西岡病院内（担当 岡村 紀宏） ☎011-853-8322 E-mail: acp.study.group@gmail.com